

王地山焼青磁亀甲唐草透六角燈籠

おうじやまやきせいじきっこう
からくさすかしろっかくとうろう

市指定
所在地：小多田



当六角燈籠は、傘・胴・足と別々に型で造り、それを継ぎ合わせて釣燈籠にしている。

王地山焼は型物に優れた技術を発揮したが、この燈籠は前面に施された深淺の彫文様、側面に交互に透彫された亀甲文、薄淡く焼き上がった青磁釉など、王地山焼の洗練された技を体現する逸品である。

高さ32cm、幅30cm。